

I 放送大学学園の概要

- 事業内容
- 1 放送大学を設置し、これを運営すること
 - 2 放送大学の教育に必要な放送等を行うこと
 - 3 その他必要な業務を行うこと

事務所の所在地 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目11番地

役員の数等

定数：理事6人以上8人以内（うち常勤5人、非常勤3人以内）、監事2人（うち非常勤1人）

氏名	役職	任期	経歴
御手洗 康	理事長	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和44年7月 文部省入省 平成15年1月 文部科学事務次官 平成17年10月 放送大学学園理事長
丹保 憲仁	理事（学長）	平成17年5月1日～ 平成19年4月30日	昭和44年4月 北海道大学教授 平成7年5月 北海道大学長 平成13年5月 放送大学長
梶野 慎一	理事	平成18年1月1日～ 平成19年9月30日	昭和48年4月 文部省入省 平成15年8月 国家公務員共済組合連合会常務理事 平成18年1月 放送大学学園理事
二宮 洋二	理事	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和50年4月 大蔵省入省 平成15年7月 国土交通省大臣官房審議官 平成17年6月 放送大学学園理事
鬼頭 達男	理事	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和48年4月 郵政省入省 平成15年8月 総務省大臣官房技術総括審議官 平成17年9月 放送大学学園理事
後藤 祥子	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和61年4月 日本女子大学教授 平成13年4月 学校法人日本女子大学理事長・ 日本女子大学学長 平成13年7月 放送大学学園理事（非常勤）
梶山 千里	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和59年11月 九州大学教授 平成13年11月 九州大学長 平成16年6月 放送大学学園理事（非常勤）
遠藤 利男	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	平成3年7月 学校法人日本放送協会学園理事長 平成5年6月 株式会社NHKエンタープライズ 21代表取締役社長 平成13年7月 放送大学学園理事（非常勤）
杉浦 哲郎	監事	平成17年10月16日～ 平成19年10月15日	昭和49年4月 文部省入省 平成15年4月 米子工業高等専門学校長 平成17年10月 放送大学学園監事
西垣 昭	監事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和63年6月 大蔵事務次官 平成2年5月 海外経済協力基金総裁 平成10年7月 放送大学学園監事（非常勤）

教員及び職員の数 教員： 89人
職員：253人

沿革 昭和56年 7月 放送大学学園設立
昭和58年 4月 放送大学設置
昭和59年10月 東京放送局免許
昭和59年12月 前橋放送局免許
昭和60年 4月 関東地方の一部において、テレビ・ラジオによる授業放送を開始するとともに学生を受入れ
平成 2年10月 関東地方以外において、順次ビデオ・オーディオテープを利用した授業等を行うとともに学生を受入れ
平成10年 1月 衛星放送による授業番組等の全国放送の開始
平成10年10月 全国の学習センターで全科履修生の受入れ開始
平成13年 4月 放送大学大学院設置
平成14年 4月 放送大学大学院学生受入れ
平成15年10月 特殊法人から特別な学校法人へ移行

設立に係る根拠法 放送大学学園法（平成14年12月13日法律第156号）

主管省庁名 文部科学省、総務省

審議等機関 名称 評議員会
業務内容 ・ 理事長の諮問に応じ、放送大学学園の業務の運営に関する重要事項について審議する。
・ 放送大学学園の業務の運営につき、理事長に対して意見を述べる。
構成員 【定数：20～27人 現員：27人】

(平成19年3月1日現在)

氏名	職名等
安西 祐一郎	慶應義塾長
飯野 正子	津田塾大学長
池端 雪浦	国立大学法人東京外国語大学長
井上 孝美	財団法人放送大学教育振興会理事長
今田 昭博	社団法人日本新聞協会顧問
梅田 昭博	社団法人日本PTA全国協議会会長
遠藤 利男	前 株式会社NHKエンタープライズ21顧問
大井田 清	前 日本テレビ放送網株式会社技術顧問
大橋 英寿	放送大学副学長
折原 守	放送大学学園事務局長
柏倉 康夫	放送大学副学長
梶山 千里	国立大学法人九州大学総長
木村 寛子	放送大学同窓会連合会会長
小館 静枝	小田原女子短期大学学長
郷 通子	国立大学法人お茶の水女子大学学長
後藤 祥子	学校法人日本女子大学理事長・日本女子大学学長
佐藤 健太郎	千葉県教育委員会教育長
清水 康敬	独立行政法人メディア教育開発センター理事長
鈴木 正人	社団法人日本経済団体連合会常務理事
玉川 寿夫	社団法人日本民間放送連盟専務理事
丹保 憲仁	放送大学長
南雲 光男	日本サービス・流通労働組合連合顧問
西原 浩	放送大学大阪学習センター所長
原田 豊彦	日本放送協会専務理事・放送総局長
広瀬 道貞	財団法人民間放送教育協会理事長
御手洗 康	放送大学学園理事長
茂木 友三郎	キッコーマン株式会社代表取締役会長CEO

II 事業の実施状況

1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項

(1) 学生の募集等

下記のとおり、平成18年度第2学期学生募集を行った。

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第2学期 全科履修生	15,000	6月15日～8月31日
	第2学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	第2学期 修士選科生 修士科目生	11,000	6月15日～8月31日

下記のとおり、平成19年度第1学期学生募集を行った。

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第1学期 全科履修生	15,000	12月15日～2月28日
	第1学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	修士全科生	500	(8/25～9/14募集) 10/10 第1次合格者の決定(書類審査) 10/29 第2次選考 (小論文) 11/18, 19 " (面接試問) 12/13 最終合格者決定
	第1学期 修士選科生 修士科目生	11,000	12月15日～2月28日

このほか平成18年度集中科目履修生の募集を5月1日～31日の間行った。

(入学者数推移)

[学 部]

(単位：人)

年 度	15年度		16年度		17年度		18年度		19年度
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期
全科履修生	6,488	3,989	7,694	3,909	7,535	3,570	6,689	3,311	7,092
選科履修生	11,601	5,580	12,240	5,425	13,369	5,483	12,319	5,191	12,623
科目履修生	10,900	11,074	9,474	10,116	8,306	9,496	7,744	8,797	6,249
特別聴講学生	1,065	3,723	1,067	3,424	1,513	4,011	2,002	4,182	1,793

[大学院]

(単位：人)

年 度	15年度		16年度		17年度		18年度		19年度
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期
修士全科生	498		530		524		502		472
修士選科生	—	—	—	—	3,949	824	3,643	902	3,148
修士科目生	11,428	10,108	6,557	5,870	2,106	1,768	1,194	1,208	827
特別聴講学生	4	3	1	1	0	0	0	1	0

(2) 学生の教育等

- ① 平成18年度第1学期の在学者(学部84,553人、大学院7,075人)及び平成18年度第2学期の在学者(学部85,093人、大学院7,141人)に対して放送授業、面接授業、通信指導、研究指導、単位認定試験等を下記のとおり実施した。

<p>放送授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年 4月1日～ 4月28日 } 15週間 平成18年 5月6日～ 7月21日 } ・平成18年10月1日～12月28日 } 15週間 平成19年 1月5日～ 1月20日 } ・第1学期については、学部285科目、大学院65科目を放送 ・第2学期については、学部285科目、大学院66科目を放送 <p style="margin-left: 40px;">(なお、平成18年4月29日～5月5日及び平成18年12月29日～19年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成18年7月22日～9月30日及び平成19年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 夏季集中放送授業期間には、「司書教諭資格取得に資する科目」(5科目)、「看護師資格取得に資する科目」(5科目)を放送)</p>
<p>面接授業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)にわたり実施 (5月～6月、11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月、10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月、2月) ・延べ2,107科目(3,349クラス)の面接授業を実施
<p>通信指導</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・放送授業科目について、学期の途中に1回、一定範囲の問題を出題し、その添削を行う(通信指導の評価の結果によって単位認定試験の受験資格が与えられる) ・通信指導提出期限：平成18年 6月9日(第1学期) 平成18年12月1日(第2学期) 〔平成18年8月15日(集中科目履修生)〕
<p>研究指導 (大学院)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を実施
<p>単位認定試験</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <ul style="list-style-type: none"> 平成18年7月22日～29日 (第1学期) 平成19年1月28日～2月4日 (第2学期) ・集中科目履修生 <ul style="list-style-type: none"> 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成18年10月20日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成18年 9月29日、30日 ・大学院文化科学研究科 <ul style="list-style-type: none"> 平成18年7月30日～8月1日 (第1学期) 平成19年1月26日～27日 (第2学期)

また、学部において5,305人の卒業認定、大学院修士課程において453人の修了認定を行った。

(学部卒業生数推移)

16年度	17年度	18年度			18年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
4,829人	5,485人	2,168人	3,137人	5,305人	45,906人

(大学院修了生数)

16年度	17年度	18年度			18年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
711人	436人	12人	441人	453人	1,600人

- ② 専修免許状、特殊教育諸学校の教諭免許状、栄養教諭免許状、看護師資格取得など各種資格の取得に資する教育を実施した。
- ③ 学生の学習意欲を高めるため、特定の科目群を履修し単位取得した学生に認証状を発行・授与する科目群履修認証制度を導入した。
- ④ 他大学との単位互換を下記のとおり締結している。
〔学部〕平成18年度末までに284校
〔大学院〕平成18年度末までに4校
- ⑤ AAOU（アジア公開大学連合）に参加し、世界各国の遠隔教育の最新情報を得るとともに、海外の遠隔高等教育機関と相互交流を図った。

(3) 教材の作成

- ① 平成19年度に新たに開設する授業科目学部64科目、大学院15科目について、放送教材及び印刷教材を作成するとともに特別講義10番組を制作した。このうち授業科目8科目については、ハイビジョン番組を制作した。
また、特別講義2番組について、番組に連動したデータ放送用コンテンツを制作した。
- ② 授業科目11科目等について字幕を付与した。
- ③ 放送教材の二次利用等の円滑化に資するため、教材作成段階において著作権処理について十分配慮するとともに、著作権処理データベースを運用し、著作権処理業務の効率化を図った。
- ④ 放送教材の作成経費について、より効率的な執行プロセスを策定、実施した。

(4) 学習センターの運営

- ① 面接授業の実施等
学習センターにおいて、延べ2,107科目(3,349クラス)の面接授業を実施した。
また、学生間の交流や学習意欲を促進するため、サークル活動や教員によるミニ講座等に供するなど講義室の有効活用を図った。
- ② 単位認定試験の実施
各学習センターにおいて下記の日程で単位試験を実施した。
 - ・教養学部 平成18年7月22日～29日 (第1学期)
平成19年1月28日～2月4日 (第2学期)
 - ・集中科目履修生
「看護師資格取得に資する科目」 平成18年9月29日、30日
 - ・大学院文化科学研究科 平成18年7月30日～8月1日 (第1学期)
平成19年1月26日～27日 (第2学期)

- ③ ビデオ・オーディオテープの視聴学習機会の提供
各学習センターに放送教材を配架し、再視聴学習に供した。
- ④ 学生サービス
各学習センターにおいて、図書の貸出、学習相談、証明書の発行等の業務を行った。
- ⑤ 当該地域の広報活動・学生募集活動
各学習センターにおいて、広報活動及び学生募集活動を行った。

(5) 施設設備の整備

- ① ・長崎大学との施設合築による長崎学習センターの整備等を行った。

構造・規模	放送大学面積	長崎大学分面積
鉄筋コンクリート造 地上4階建 1,703.22㎡	(左のうち3～4階部分) 1,093.52㎡	(1～2階部分) 609.70㎡

(平成19年5月より供用開始)

- ・群馬学習センターの施設の老朽化を解消するため改修を行った。
- ② ネットワーク環境を改善するため、キャンパス・ネットワーク・システムの整備として、12の学習センターのパソコン等を更新した。
- ③ 教育研究に必要な機械・器具の整備を進めるとともに、図書・学術雑誌の充実を図った。

(6) 授業評価の実施

授業評価システムを構築するため、平成17年度試行結果を踏まえ、調査方法(対象とする科目の範囲、実施時期等)を分析・整理のうえ、学生等による授業評価を実施した。

2 大学における教育に必要な放送等の実施に関する事項

(1) 放送等の実施

東京放送局、前橋放送局等において、テレビ(UHF)及びラジオ(FM)により、また、衛星放送(CS放送)のテレビ及びラジオにより下記のとおり、授業番組を放送した。

また、平成18年12月1日から地上デジタルテレビジョン放送を開始し、ハイビジョン放送を実施するとともに、平成19年3月から多チャンネル放送を開始した。

① 番組編成期間及び放送時間

番組編成期間	放送時間
放送授業期間 平成18年 4月1日～ 4月28日 平成18年 5月6日～ 7月21日 平成18年10月1日～12月28日 平成19年 1月5日～ 1月20日	日曜及び月曜 午前6時から午前0時まで 火曜 午前6時から翌日午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌日午前2時まで
ゆとりの期間 平成18年 4月29日～5月 5日 平成18年12月29日～19年1月4日 集中放送授業期間 平成18年 7月22日～9月30日 平成19年 1月21日～3月31日	毎日 午前6時から午前0時まで

② 番組の種類

番組名	番組内容	
授業番組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組
	特別講義	各学問分野の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組
告知番組	科目選択ガイド	学部及び専攻の内容、科目選択の方法などを紹介する番組
	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組
	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組

(2) 放送設備の整備

放送局施設の整備等として下記を実施した。

- ① 幕張演奏所に設置する主調整装置や東京放送局に設置する地上デジタルテレビジョン送信機等の整備
- ② 前橋放送局の地上デジタルテレビジョン放送設備の整備
- ③ 放送局の安定した運行のための、放送関連施設及び機器等の保全・管理等

(3) 放送事故

- ① 平成18年5月2日(火)、豪雨によるスカイパーフェクTV!目黒局のアップリンク回線の降雨減衰により、CS放送(テレビ、ラジオ)が42秒間断となった。
- ② 平成18年8月9日(水)、豪雨によるスカイパーフェクTV!目黒局のアップリンク回線の降雨減衰により、CS放送(テレビ、ラジオ)が4分39秒間断となった。
- ③ 平成18年8月12日(土)、豪雨によるスカイパーフェクTV!目黒局のアップリンク回線の降雨減衰により、CS放送(テレビ、ラジオ)が6分39秒間断となった。
- ④ 平成18年11月10日(金)、東京送信所の電源設備の障害により、地上アナログTV放送(東京、前橋)、FM放送(東京、前橋)及びCSテレビ放送が最長35分10秒間停波した。
- ⑤ 平成19年1月8日(月)、前橋デジタルTV送信機を起動する遠隔制御監視装置の障害及び送信機起動等の誤認により、前橋デジタルTV放送局が3時間41分間停波した。
- ⑥ 平成19年1月22日(月)、ラジオ放送番組の再生装置の障害により、FM放送(東京、前橋)及びCSラジオ放送が36秒間断となった。
- ⑦ 平成19年2月14日(水)、豪雨によるスカイパーフェクTV!目黒局のアップリンク回線の降雨減衰により、CS放送(テレビ、ラジオ)が1分31秒間断となった。

3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項

(1) 広報活動の実施

各種広報資料の作成・配布、公開講演会の開催、新聞・雑誌・テレビを利用した広報を行うとともに、各種イベントに参加した。

- ① 放送大学の周知に係る広報活動
 - ・ホームページの充実
 - ・体験入学（各学習センター）の実施
 - ・生涯学習フェスティバル等各種イベントへの参加（平成18年10月5日～9日：茨城県）
 - ・全国産業教育フェアへの参加（平成18年11月10日～12日：埼玉県）
 - ・公開講演会（各学習センター）の実施（計290回）
 - ・展示会（公共図書館等）の実施（岩手、富山、福井、茨城、石川、香川、熊本県）
- ② 学生募集に係る広報活動
 - ・学生募集ポスター、学生募集リーフレット、その他広報資料の作成
 - ・新聞、テレビ、雑誌等のメディアを活用した学生募集広告の実施
 - 〔テレビCM（首都圏）テレビ朝日（平成18年7月24日～30日）
 - 〔新聞広告（首都圏）読売、朝日新聞等（本部実施分）
 - ・生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請
 - ・政府広報、各自治体広報等広報誌の活用

（2）調査研究の実施

- ① 視聴状況調査

放送番組の編成に対する視聴者ニーズや一般的な視聴・受信状況を把握するための調査を実施し、その結果の活用を図った。
- ② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究

放送大学における今後のメディア活用に関する課題等について調査研究を行った。特に、ラジオ科目等のインターネット配信実験（配信科目の一部について、ラジオ教材に連動したスライド（文字・静止画等）を付加）を実施した。

（3）事務電算システムの運用等

- ① 各種業務システム等の運用・管理
 - ・人事・給与システム、財務・会計システム、教務情報システム、図書システム、大学院研究指導支援システムの運用・管理を行った。
 - ・事務連絡用システム、電子会議システム、文書管理システム、法人文書ファイル管理システム等の運用・管理を行った。
- ② 教務情報システムの見直し・改善

本学の教育改革への対応及び教務処理のより一層の弾力化、迅速化等を図るため、新たな教務情報システムに関する業務プロセス設計及びシステム基本設計を実施した。

（4）学費収納方法の見直し

学生への利便性に配慮し、19年度1学期分から新たにコンビニエンスストアでの学費収納を実施した。

（5）公共調達適正化

国の公共調達の適正化に向けた取り組み等を踏まえ、従来、随意契約により実施してきた業務委託契約の一部について、契約方式を見直すこととし、順次一般競争契約等へ移行することとした。

4 その他学園の行う業務に関する事項

- ・文部科学省からの委託を受け、生涯学習施策の推進に資するため、公開講座のあり方に関する受託研究を実施した。
- ・学生等の受信環境の向上を図るため、ケーブルテレビ事業者による再送信の拡充を行った。

Ⅲ 当該会計年度における学園の借入金の借入先、借入に係る目的及び金額

該当なし

Ⅳ 当該年度において学園が受け入れた国庫補助金等の名称並びに受入れに係る目的及び金額

名目	称	放送大学学園補助金
	的	放送大学の設置・運営、放送及び委託放送業務、その他附帯する業務に要する経費の一部に充てること
金額		7,886,817,299 円
名目	称	放送大学学園施設整備費補助金
	的	施設の整備に要する経費に充てること
金額		176,582,950 円
名目	称	地上デジタルテレビジョン放送施設整備費補助金
	的	地上デジタルテレビジョン放送を実施するため、その施設の整備に要する経費に充てること
金額		2,294,451,826 円
名目	称	大学改革推進等補助金
	的	遠隔教育の難点とされる双方向性を補うために、ネットワーク技術を利用し、映像アーカイブズなどのメディアを多様に組み合わせる授業モデルを確立し、その実践を行い、そのうえで成果を蓄積・公開する経費に充てるため
金額		27,000,000 円

Ⅴ 放送大学学園が対処すべき課題

- 1 特別な学校法人化の趣旨を踏まえ、その運営の効率化等を推進すること。
- 2 学生サービスの向上及び着実な大学改革を推進すること。
- 3 メディアの充実を進めること。